

## 地域への貢献と豊かな仲間づくり

わかやま農業協同組合青年部 尾野裕亮

### ○ JA わかやまについて

JA わかやま管内は、和歌山県の県庁所在地である和歌山市を全エリアに収め、一行政・一JA という中にあります。

交通は、関西国際空港をはじめ鉄道や阪和自動車道などが整備され、京阪神市場へのアクセスが容易であり、都市近郊型農業をおこなうことができる恵まれた環境下にあります。

農業では、沿岸部及び紀ノ川の中洲の砂地地帯での根茎菜類が有名で、だいこんやニンジンなどの露地栽培、新ショウガなどのハウス栽培をおこなっています。また、紀ノ川流域の水田地帯では水稲と裏作ではなくさい、キャベツ、ブロッコリーなどを栽培しています。東南部の中山間地帯では、温州みかんをはじめイチジク、桃など多様な果樹が生産されるなど都市近郊型農業特有の多彩な作物の栽培がなされています。

### ○ 管内の概況

管内の概況ですが、水田 2,080 ヘクタール、普通畑 388 ヘクタール、樹園地 507 ヘクタールで耕地面積は 2,975 ヘクタールとなっています。しかし、農地の転用や耕作放棄地の増加などにより面積は年々減少傾向にあります。

また、農家件数も毎年減少し、兼業化や高齢化も進んでいることから新規就農者や U・I ターン就農者など多様な担い手の確保・育成が急務となっています。

そのような状況の中、地域の担い手となる青年部員には地域の期待も大きく、規模拡大による農地の保全や、農作業の受託などが求められて、産地の維持・拡大に努めています。

### ○ 青年部について

JA わかやま青年部の概要ですが、管内に居住し、農業に従事する 50 歳未満の農業者で、青年部の目的に賛同する者を以って組織しています。

管内 5 つのブロックで構成され西ブロック 19 名、北ブロック 2 名、中央ブロック 9 名、南ブロック 15 名、東ブロック 10 名の計 55 名が部員として活動しています。

### ○ 目的

青年部活動の目的は 3 つあります。

まず、1 つ目は新しい農業の構築です。先進地への視察研修や、講師を招いての勉強会・講習会の開催により情報を仕入れ新たな試みの材料とし日々の営農につなげています。

2 つ目は親睦と教養の向上です。年に数回開催される研修会への参加により営農に関する

知識を習得・向上し、日々の営農活動につなげるだけでなく、地域のリーダーとしての自覚を高めています。

最後の3つ目は地域社会の発展に寄与することです。小学生への農作業体験を通じての食への関心を高めてもらうことや、JAでのイベントでつきたての餅を振舞うなどを行っています。

#### ○ 視察研修

視察研修では毎年、各品目の産地や肥料・農薬メーカー、国や都道府県の農業試験場などに視察に行っています。現状、栽培している品目だけでなく、他品目の栽培や新技術などを見ることで新たな品目へのチャレンジや日頃の作業の改善点の発見などの機会にしています。実際に現地を視察することで、本やインターネットなどではわからないことも5感で感じることができるため有意義な事業になっています。

#### ○ 研修会の開催

研修会では肥料・農薬メーカーの技術担当、営業や試験場の研究者などを講師に招き、定期的を開催しています。同じ内容でも、講師が違ったり、繰り返し聞くことで今までに気づかなかったことを気づけたり、新たな発見が生まれます。また、20代前半の青年部員も増えてきたことから、内容も土壌のことや肥料農薬などの基本的なことから、応用的なことまで幅広い内容で内容にし、全体のスキルアップを目指せるようにしています。

#### ○ 視察研修・研修会の成果

視察研修・研修会の成果としては視察研修や、研修会への参加で会員の技術や知識の向上、新技術や知識を取り入れることでできる新たな農業への挑戦、一緒に参加することで生まれる部員相互の繋がりの強化などがあります。繋がりがうまれることは非常に重要で日頃の営農活動に行き詰った時に共に考え合い知識を出し合い解決しやすくなっています。

#### ○ 婚活イベント

婚活は、結婚適齢期の部員の部員も増え、女性との出会いが少ない環境であることから部員から要望の多かったため平成23年度から開始しました。地元農産物のブロッコリーやみかん、いちじくなどの収穫体験とジャムづくりや陶芸などの体験を話しながらおこない懇親会も開催します。収穫体験では日頃使うことの少ないカマやはさみを使うので部員が使い方のポイントなどを指導しながらおこない、楽しくおこないます。ジャム作りなどでは女性の方が詳しいため部員が教えられる側になりました。

## ○ 応募方法と進め方

婚活をおこなう上で最も苦労し、心配したことは女性が集まるかどうかです。応募方法としては支店窓口に写真にあるようなチラシを掲示し、一般女性にPRするとともに、部員や事務局の知り合いなどにも声をかけ募集しました。その結果、農業に興味をもっている女性は比較的多く、毎回多数参加していただき、部員にも好評の事業となっています。

## ○ 婚活の成果

婚活の成果としては数組のカップルが誕生し、そのうち2組が夫婦となり、2人3脚で農業に励んでいます。今後も、婚活を続け結婚適齢期になった青年部員のパートナー探しの手伝いをしていきたいと考えています。

## ○ 地域貢献活動

地域貢献活動として学童農園での稲作り指導やつきたての餅をふるまうなどをおこなっています。

学童農園では、小学生に農業の難しさ、食の大切さを知ってもらうためもち米の栽培を指導しました。苗はJAで用意し、田植え・稲刈りを体験してもらいました。初めて体験する子供も多く、最初はこずっていました。部員の指導で次第にスムーズに作業できるようになりました。自ら体験し、食べ物を作る難しさ・大変さもわかってもらえたと思います。

餅つきでは地元産のもち米を使い、つきたてを振舞いました。来場者からは、やわらかい、おいしいなどの声をいただき、地元産のPRやJA青年部の活動を広く知ってもらえる機会となりました。

## ○ 地域貢献活動の成果

成果は農業をおこなっていく上で地域との繋がりは非常に重要です。日頃お世話になっている地域に恩返しし、一般の方や小学生に『農業』という仕事の大変さ、難しさ、楽しさを理解してもらい、消費者に食の大切さをわかってもらえれば幸いです。

## ○ まとめ

以上のような取り組みにより昨年11名の盟友拡大に繋がりました。地域、人、盟友との繋がりはすぐに生まれるものではありません。今後も、さまざまな活動を精力的に行うことで更なるつながりの強化を目指していきます。

ご清聴ありがとうございました。